

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 未来人材課	末續 友基
施策名	1 将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進	事業群関係課(室)		
事業群名	① 県民の県内就職への意識醸成	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	44,457

1. 計画等概要

(長崎県総合計画テュンジ&チャレツジ2025 本文)						(取組項目)				
一般県民、生徒・学生、保護者、企業など、県民全体の県内就職促進への意識醸成が図られるよう、合同企業面談会や学生と企業の交流会、高校での講演などを集中的に実施します。						i) 県民の県内就職への意識醸成を図るため、県内就職促進キャンペーンを実施				
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	進捗状況の分析 若者の県内就職を促進するためには、生徒や学生に加え、保護者等を含めた県民全体の意識醸成が必要であることから、令和4年5月から8月を「県内就職促進キャンペーン」期間と位置付け、新規高卒者に係る求人票の早期提出要請や県内就職をPRするテレビ番組「がんばれ!あまかつ」 「トコトコ就活リアリティ」の放送など、県内就職の意識醸成を図るための取組を実施した。 また、「ライフ&ワークスタイル」をテーマに、仕事とプライベートを両立して県内で働き、暮らしている先輩の姿を、コンセプトサイト「ナガサキエール」で発信し、学生等への周知に努めた。
	目標値①			210%	220%	230%	240%	250%	250% (R7)	
	実績値②		100% (R元)	375%	210%				進捗状況	
	達成率②/①			178%	95%				やや遅れ	

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等						
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		R3目標	R3実績	達成率							
				R4実績													
取組項目1	○	1	学生と企業の交流強化事業費	24,515	12,258	19,475	令和4年度事業の実施状況(令和5年度新規・補正事業は事業内容) 事業対象	【活動指標】 学生と企業が交流する県内イベントの実施回数(回)	30	62	206%	●事業の成果 ・学生団体と連携し、学生目線で企画した気軽に参加できる対面型就活イベントを実施することで、参加者の増につなげることができ、県内企業の魅力理解に繋がった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・就活イベントに参加した学生が増えることで、県内就職意識の醸成やコンセプトサイトの認知度向上が図られた。					
				20,451	10,192	19,132			34	57	167%						
				27,203	13,602	19,290			34								
			R元-6	—				【成果指標】	2,330	3,936	168%						
			未来人材課	—				学生と企業が接触する県内開催イベント等への参加者数(人)	2,410	3,227	133%						
				—				県内大学生、県内企業ほか	2,410								
			取組項目1	2	1	高校生の県内就職促進事業費		11,076	7,914	7,011	企業見学会等やインターンシップへの支援を行い、高校生が県内企業を知る機会を創出するとともに、保護者向けに県内就職の魅力や県の支援施策を伝えることで、県内就職に対する意識を醸成した。 また、新たに工業科高校を対象とした広域の合同企業説明会を開催し、県内の製造業・建設業等の企業を広く知る機会を創出した。		【活動指標】 生徒や保護者・教員向けの企業見学会等の参加者数(人)	2,394	1,680	70%	●事業の成果 ・高校2年生を対象に企業見学会を開催した。さらに、就職者が多い工業科高校を対象に広域合同企業説明会を開催し、高校生が幅広く県内企業を知る機会を創出した。
								24,006	14,388	6,888				3,200	2,970	92%	
								29,276	17,878	6,944				3,200			
						R元-6		—					【成果指標】 R3:企業見学会前後の学生の意識変化割合(%)	50%	50.5%	101%	
未来人材課	—					R4:県内高校3年生の県内就職希望率(%)	数値目標なし	54.3%	—								
	—					高校生、保護者ほか	56.4%										

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 県民の県内就職への意識醸成を図るため、県内就職促進キャンペーンを実施	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和4年度県内就職促進キャンペーンにおける県内就職を促進するテレビ番組は重要な役割を担っており、保護者層を含む県民に広く県内就職の魅力を伝えるとともに、コンセプトサイト「ナガサキエール」および県内就職応援サイト「Nなび」への誘導を図った。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・本県の暮らしやすさや県内企業の魅力発信を継続的に実施することは、県内就職促進の意識醸成のために重要な取組であることから、今後も情報発信の手法などについて見直しを行いながら実施していく。</p>

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名 事業期間 所管課(室)名	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和6年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	学生と企業の交流強化事業費	・コンセプトサイト「ナガサキエール」については、R4.3より、県内就職応援サイト「Nなび」との一体性を高めるとともに、SNSアカウントもナガサキエールに統一するなど、サイト誘導を強化。さらに令和5年度は学生SNS投稿チームによる企業取材記事の掲載などより学生目線での取組を強化。	②	・コンセプトサイト「ナガサキエール」において、仕事やプライベートも含めて「長崎で働き、暮らすことを選択する」という意識醸成をさらに図っていくために、SNS対策の強化やナガサキエールのコンテンツの魅力向上など、必要な見直しを行っていく。	改善
			R元-6 未来人材課				
	2	高校生の県内就職促進事業費	・高校生の県内就職については、生徒や保護者が県内企業の魅力を知ることが重要であるため、保護者向けの企業見学会など保護者対策を強化。	②	・高校生や保護者に対して県内企業の魅力を伝えることは引き続き重要であり、企業見学や企業説明会など企業を直接知ることができる機会の確保を中心に取組を強化する。	改善	
		R元-6 未来人材課					

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せていないか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点